

中村 丁次 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 中村丁次. (2017). 栄養問題の費用対効果から考えるわが国の保健・医療. フォーミュラリーーエビデンスと経済性に基づいた薬剤選択ーフォーミュラリーー編集委員会編 (pp.231-236). 東京: 薬事日報社.
- 2) Teiji Nakamura, S.Kuranuki. (2017). Nutrition-Macronutrients. Encyclopedia of Cardiovascular Research and Medicine 循環器疾患の研究と医療に関する百科事典 (pp.531-537). オランダ: Elsevier.
- 3) 中村丁次, 門田佳子, 鈴木志保子, 戸田和正, 森田雅之. (2018). 食生活と栄養. 新看護学 3 専門基礎[3] (pp.181-204, pp.288-302). 東京: 医学書院.
- 4) 中村丁次. 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修. (2018). Chapter1 臨床栄養とは, Chapter9 これからの臨床栄養の課題. 臨床栄養学 基礎ー管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠第 4 巻ー (pp.1-8, pp.135-138). 東京: 医歯薬出版.
- 5) 中村丁次. (2018). 第 13 章がん患者の栄養食事療法. 栄養食事療法ー系統看護学講座別巻ー (pp.190-194). 東京: 医学書院.

2 学術論文

- 1) 中村丁次. (2017). 医学・医療にもっと栄養を. 日本臨床栄養学会雑誌, 39 (1), 69-70.
- 2) 中村丁次. (2017). 日本栄養学教育学会の科研費改革への対応と急がれる栄養学の体系化. 日本栄養学教育学会雑誌, July 2 (1), 4-6.
- 3) 倉貫早智, 中村丁次. (2017). 炭水化物総論 (代謝の基本・動態や役割等). 食と医療, SUMMER-FALL 2, 2-9.
- 4) 中村丁次. (2017). 健康長寿の食事とは一体にも、生活にも、地球にもやさしい食事ー. 日本健康医療学会雑誌, 5 (1), 38-39.
- 5) 外山健二, 倉貫早智, 中村丁次, 吉武裕. (2018). グルタミン酸ナトリウムを添加した食事が青年期女性の食事誘発性熱産生および体表面温度に及ぼす影響. 日本食品科学工学会誌, 65 (1) 別刷.
- 6) 中村丁次. (2018). フレイル対策と個別化栄養指導. 公衆衛生情報, 47 (12), 4-5.
- 7) 中村丁次. (2018). 高齢社会に対する革命的提言. 神奈川県立保健福祉大学誌, 15 (1), 1.

3 その他の著作

- 1) 中村丁次監修. (2017). 栄養素図鑑と食べ方テクーもっとキレイに、ずーっと健康ー. 朝日新聞出版, 全 255.
- 2) 中村丁次. (2017). 「特別用途食品」の普及拡大に向けてメタボ対策からフレイル対策へ 高齢者の“おいしさ”の追及を. 月刊 FOOD STYLE21, 239, 8-11.

- 3) 中村丁次. (2017). 腹八分目食は、全ての人に有効ではない. 厚生福祉, 6314, 1.
- 4) 中村丁次. (2017). アジアの栄養問題と日本食. 週刊保健衛生ニュース, 1905, 64.
- 5) 中村丁次. (2017). 栄養素、食品、献立、食事、私たちは何を評価しているのか. 週刊保健衛生ニュース, 1912, 64.
- 6) 中村丁次. (2017). 病者用の特別用途食品の開発を. 厚生福祉, 6339, 1.
- 7) 中村丁次. (2017). 適切な食生活を実現するためのプロジェクト発足. 週刊保健衛生ニュース, 1922, 5.
- 8) 中村丁次. (2017). 地中海食、経済格差や知識レベルが影響. 週刊保健衛生ニュース, 1926, 64.
- 9) 中村丁次. (2017). 科学的根拠に基づく管理栄養士・栄養士の活動. 日本栄養士会雑誌, 60 (10), 34.
- 10) 中村丁次. (2017). 炭水化物と脂質の適正な比率とは. 厚生福祉, 6359, 1.
- 11) 中村丁次. (2017). 病人と高齢者の低栄養と味覚異常. 週刊保健衛生ニュース, 1933, 64.
- 12) 中村丁次. (2017). 日野原重明先生を偲ぶ. 日本総合健診医学会誌 総合健診, 44 (6), 29-30.
- 13) 中村丁次. (2017). 人の器は、栄養で決まるかもしれない?. 週刊保健衛生ニュース, 1940, 64.
- 14) 中村丁次. (2018). 高齢者差別をなくす. 厚生福祉, 6382, 1.
- 15) 中村丁次. (2018). バレンタインはチョコよりキスを?. 週刊保健衛生ニュース, 1947, 64.

4 学会等での活動

- 1) 中村丁次. (2017). 健康増進・健康寿命を延ばすための食事法－臨床栄養学の立場から－. 第90回日本産業衛生学会. 東京.
- 2) 中村丁次. (2017). はだか麦の現状「地域農産物のはだか麦をもとにした食育の可能性を考える」. 日本食育学会第5回学術大会. 愛媛.
- 3) 中村丁次. (2017). 高齢社会と特別用途食品「食品の栄養・健康強調表示」. 第71回日本栄養・食糧学会大会. 沖縄.
- 4) 中村丁次. (2017). 栄養療法におけるスキルミクス. 第9回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部学術集会. 神奈川.
- 5) 中村丁次. (2017). 栄養情報はなぜ混乱する. 第64回日本栄養改善学会学術大会総会. 徳島.
- 6) 中村丁次, 新開省二, 鈴木志保子, 中村育子. (2017). 生きることと食べること－世代による栄養摂取と食べ方の提案－. 第64回日本栄養改善学会学術大会総会. 徳島.
- 7) 中村丁次. (2017). 管理栄養士教育における多職種連携教育のあり方. 第6回日本栄養学教育学会学術集会. 徳島.
- 8) 中村丁次. (2017). 健康長寿の食事とは一体にも、生活にも、地球にもやさしい食事. 第10回日本健康医療学会記念大会. 東京.

- 9) 中村丁次. (2017). 未病と栄養. 第 24 回日本未病システム学会学術総会. 神奈川.
- 10) 中村丁次. (2017). 栄養学のおもしろさ. 第 16 回日本栄養改善学会近畿支部学術総会. 大阪.
- 11) 中村丁次. (2017). 特別用途食品の活用と課題. 第 15 回日本機能性食品医用学会総会. 東京.
- 12) 中村丁次. (2018). 最初の 1,000 日の栄養. 第 32 回日本助産学会学術集会. 神奈川.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本栄養士会名誉会長, 2012.6～
- 2) 一般社団法人日本栄養学教育学会理事長, 2013.9～
- 3) 一般社団法人日本臨床栄養学会副理事長, 2014.1～
- 4) 一般社団法人日本食育学会常務理事, 2013.4～
- 5) 一般社団法人日本予防医学会専務理事, 2012.9～
- 6) 日本肥満症治療学会理事, 2014.2～
- 7) 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会名誉会員, 2015.2～
- 8) ME-BYO サミット神奈川実行委員会委員, 2016.4～
- 9) 牛乳乳製品健康科学会議副代表幹事, 2012.3～
- 10) 一般社団法人日本健康・栄養システム学会理事, 2017.6～

8 社会貢献

- 1) 鎌倉市食育推進会議会長, 2012.4～
- 2) 横浜市食の安全・安心推進横浜会議会長, 2012.6～
- 3) 公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金運営委員長, 2015.3～
- 4) 厚生労働省「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」中間・事後評価委員長, 2015.10～
- 5) 消費者庁特別用途食品の許可等に関する委員会委員長, 2017.5～
- 6) 公益財団法人味の素ファンデーション 食と栄養支援委員会委員, 2017.6～
- 7) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター「知」の集積と活用の場による革新的技術創造促進事業(異分野融合発展研究) 評議委員会評議委員, 2017.7～

9 講演, 放送

- 1) 人間栄養学 栄養・食事の原点とは. 臨床栄養実践協会第 4 回記念セミナー. 2017.4.
- 2) 「特別用途食品」の意義と適正な教育、普及. Ifia/HFE Japan2017 セミナー. 2017.5.
- 3) 少子高齢化社会における栄養士・管理栄養士の役割. 平成 29 年度(第 6 回) 定時総会および栄養士・管理栄養士研修会. 2017.5.
- 4) 健康寿命の延伸と栄養学の進化. 第 17 回医食農連携プラットフォーム研究会シンポジウム. 2017.6.
- 5) 元気ハツラツ 100 歳までー健康寿命のための食生活の知恵ー. 第 21 回淑徳大学社会福祉研究所企画講演会. 2017.7.

- 6) しっかり食べて健康長寿. 第 61 回湯河原町民大学. 2017.7.
 - 7) 栄養士 70 年のあゆみを振り返り未来の一番星を目指す. 「栄養の日」市民公開講座. 2017.7.
 - 8) 新たな栄養問題とその対処法－関連職種との連携の中で栄養教諭・学校栄養職員の役割とは－. 平成 29 年度岡山県栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会. 2017.8.
 - 9) 科学的根拠に基づく管理栄養士・栄養士の活動. 平成 29 年度全国栄養士大会 (栄養改善大会). 2017.8.
 - 10) 大腸がんの予防と栄養・食事. 川崎市病院協会市民公開講座. 2017.9.
 - 11) ME-BYO と行動変容. ME-BYO サミット神奈川 2017 in 箱根. 2017.10.
 - 12) 和食を中心とした献立の提供と栄養管理の在り方. 第 68 回全国学校給食研究協議大会. 2017.11.
 - 13) 健康食としての地中海食と和食の類似点および相違点. 第 2 回世界イタリア料理週間 The Extraordinary Italian Taste. 2017.11.
 - 14) 高齢者糖尿病患者の食事療法. 第 46 回湘南糖尿病懇話会. 2017.11.
 - 15) 日本の栄養改善と国際貢献. ベトナムビジネス視察プログラム「食生活改善セミナー」. 2017.12.
 - 16) ヒューマンサービスとヘルスケアイノベーション. プレ講座「Introduction to Health Innovation. 2017.12.
 - 17) 障害者の「食と栄養」はどのように取り組まれてきたのか. 第 22 回アメニティフォーラム. 2018.2.
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 中村丁次, 外山健二, 杉山みち子, 五味郁子, 藤谷朝実, 中島啓, 高田健人. ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態. 2,600 千円. 2017.4～2019.3.
- 12 受賞
- 1) 表彰状. 一般社団法人日本病院会, 2017.9.

杉山 みち子 (大学院研究科兼務)

1. 学術論文

- 1) 古明地夕佳、杉山みち子、榎裕美、川久保清、葛谷雅文(2017).在宅サービス利用高齢者における低栄養状態の実態および要因分析.日本健康・栄養システム学会雑誌 16 巻 20-27
- 2) 古明地夕佳、杉山みち子、榎裕美、川久保清、葛谷雅文.在宅サービス利用高齢者における低栄養状態と2年間の予後(2017).日本健康・栄養システム学会雑誌 16 巻 28-35
- 3) Nakahara Shinji, Do Huy Nguyen, An Tho Bui, Michiko Sugiyama, Masao Ichikawa, Tetsuya Sakamoto, Teiji Nakamura(2017).Perioperativenutrition management as an important component of surgical capacity in low- and middle-income countries. Tropical Medicine & International Health 22 (7) . 784-796.

3 その他の著作

- 1)杉山みち子(委員長),小山秀夫、高田和子、宇田淳、榎裕美、大原里子、加藤昌彦、高田健人、田中和美、堤亮介、遠又靖丈、長瀬香織、西村秋生、西宮弘之、野地有子、馬場真佐美、和田涼子、松山紗奈江、藤川亜沙美他、長谷川美帆子(委員).平成29年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)認知症対応型共同生活介護における栄養管理のあり方に関する調査研究事業報告書.114頁.日本健康・栄養システム学会.

4 学会等での活動

- 1) 日本健康・栄養システム学会理事 年2回の理事会に出席し、臨床栄養師研修運営担当として臨床栄養師の育成に努めた。

5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1)厚生労働省保健局高齢者医療課.高齢者の保健事業のあり方検討ワーキング構成員として高齢者の特性を踏まえた保健事業のガイドラインづくりに努めた。
- 2) 神奈川県かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進委員会副委員長、専門部会委員長 年2回程度出席し、高齢者の介護予防、保健福祉計画評価・推進に努めた。

6.学内教育活動

- 1)栄養管理概論、栄養教育総論・各論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育実習、臨床栄養学臨地実習、栄養学(看護学科)、栄養ケア・マネジメント特論・栄養ケア・マネジメント演習(大学院)、栄養ケア・マネジメント課程(実践教育センター)
- 2)卒業論文指導:婁欣「中国高齢者における栄養障害に関する文献レビュー」、福田嶺樹「地域在住高齢者の低栄養に関連する環境要因の文献レビュー」、村井夏子「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくりに関する研究—ストラクチャー・プロセス評価」、出口

瑞穂「障害児・者の栄養ケア・マネジメントに関する文献レビュー」

3)卒業論指導：神保七海「介護保険施設における＜低栄養＞＜経口維持の取り組み＞が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響」、山内春花「特別養護老人ホーム入所高齢者におけるミールラウンドのあり方について：「施設内看取り」との関連から」、米本美咲「介護老人保健施設入所者におけるミールラウンドのあり方について：「在宅復帰」との関連から」、小峰ひかる「介護老人保険士悦における栄養ケア・マネジメントの構造及び経過が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響」

修士論文指導：松山紗奈江「介護保険施設における在宅復帰及び経口維持による看取り支援のための栄養ケア・マネジメントに関する研究」、川端明日香「神奈川県指定障害者支援士悦における栄養ケア・マネジメントに関する研究」

4)博士論文指導（副指導教員）：柴田みち「体重異常の両極において加齢が与える影響—かながわNDG臨床疫学研究による検討—」（指導教員：中島啓）、鈴木恵「医療・介護関連肺炎患者の意思の尊重・QOL向上を考慮した在宅ケアモデルの開発」（指導教員：水戸優子）、博士論文指導支援：長瀬香織「地域要支援高齢者の低栄養リスク「料理・買い物状況」及び「地域とのつながり」との関係（筑波大学大学院）」

7 学内各種委員会活動

- 1) 2017.4～2018.3. 総務企画委員会委員
- 2) 2017.4～2018.3. カリキュラム委員会委員委員長
- 3) 2017.4～2018.3. メディカル・イノベーションスクール設置専門部会委員
- 4) 2017.4～2018.3. 地域貢献研究センター副センター長

8 社会貢献

- 1) 地域包括ケアシステムにおける栄養ケアの連携・協働を推進するために、横須賀市栄養士連絡協議会、低栄養実践教育センター卒業生による障害者施設栄養士勉強会を支援。

9 講演，放送

- 1) 平成 28 年度介護保険制度改正の経口維持、経口移行体制に対応するための啓発活動をおこなった。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1)杉山みち子(分担者).神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究（代表 中村丁次、担当者 高田健人,2 年目 1,081 千円）※28-30 年
- 2)杉山みち子（研究分担者）. ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態. 平成 29 年度科学研究費助成事業（基盤研究 B）（研究代表者 中村丁次）2,000 千円.

佐野 喜子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 日本糖尿病学会編・著(食品交換表編集委員会カーボカウント小委員会副委員長(佐野喜子)カーボカウントのてびき「糖尿病食事療法のための食品交換表」準拠.株式会社文光堂.(東京) 2017.4.
- 2) 日本糖尿病学会編・著(食品交換表編集委員会カーボカウント小委員会副委員長(佐野喜子)医療者のためのカーボカウント指導テキスト「糖尿病食事療法のための食品交換表」準拠.株式会社文光堂.(東京) 2017.4.
- 3) 佐野喜子、大橋健、曾根博仁、本田桂子編著. 糖尿病の最新食事療法のなぜに答える基礎編. 医歯薬出版株式会社.(東京) 2017.10
- 4) 尾岸恵三子・正木治恵編著, 佐野喜子共著. 看護栄養学第4版「肥満」(2)肥満(症).p152-155. 医歯薬出版社.2018.3.

2 学術論文

- 1) 佐野喜子、津下一代「糖尿病重症化予防事業における指導者スキルアップに関する研究」重症化予防プログラムの普及に向けた指導者研修のあり方についての検討 (P82-90). 平成 29 年度厚生労働科学研究委託費 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「糖尿病性腎症 重症化予防プログラム開発のための研究」分担研究報告書 (2018.3.)

4 学会等での活動

- 1) シンポジウム
佐野喜子.「ライフステージを考慮した健康対策～メタボからフレイルへ」第 39 回日本臨床栄養学会. (千葉,2017.10)
- 2) 教育講演
佐野喜子.「効果的・実践的な糖尿病の食事療法指導. 第 55 回日本糖尿病九州地方会.(宮崎,2017.10)
- 3) 佐野喜子、志村真紀子.「2型糖尿病勤労男性におけるカーボカウントを用いた指導効果」第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会口演 (名古屋,2017.5)
- 4) 村本あき子、柴口ゆかり、佐野喜子、津下一代ほか.「全国自治体で実施可能な糖尿病性腎症重症化予防プログラムの開発と実証 (第 1 報)」第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会ポスター (名古屋,2017.5)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本糖尿病学会 食品交換表編集委員会、食品交換表改訂小委員会 委員
- 2) 日本糖尿病学会 食品交換表編集委員会、カーボカウントの手引き委員会 副委員長
- 3) 日本肥満学会 評議員
- 4) 日本肥満学会 刊行編集委員

- 5) 日本肥満学会 生活習慣病改善指導士カリキュラム委員会 委員
- 6) 日本肥満学会 生活習慣病改善指導士受験資格評価委員会 委員長
- 7) 日本未病システム学会 評議員

6 学内教育活動

- 1) 公衆栄養学 I・II、公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習 I・II、エビデンスベースドヘルスケア、外書購読、総合演習、卒業研究
- 2) 大学院研究科 栄養実践活動調査研究特論、栄養実践活動調査研究特論演習
- 3) 相模女子大学 管理栄養士科との授業交換 (2017.7 相模女子大学で実施)

7 学内各種委員会活動

- 1) FD 委員会 委員長
- 2) 時間割ワーキング
- 3) 栄養学科 FD とりまとめ

8 社会貢献

- 1) 逗子市食育推進計画策定委員 (①2017.6, ②2017.11, ③2018.2.)
食育推進計画の拡散を目的とした推進懇話会に参画し、専門的情報を提供する。
- 2) 平成 29 年度横須賀地区栄養士連絡協議会(拠点:県立保健福祉大学) (2017.5～)
自主活動における助言、アドバイスの提供。
- 3) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス: 栄養学科 (2017.8)
- 4) 神奈川県生活習慣病対策委員会 かながわ健康プラン 21(第 2 次)目標評価部会委員
(2017.7.19～2018.3.31)
基準値、目標値、調査結果から各行動計画の達成状況検討を行った。
- 5) 神奈川県生活習慣病対策委員会 かながわ健康プラン 21(第 2 次) 目標評価ワーキングチーム (2017.5.1～2018.3.31)
県民健康・栄養調査から現状と問題点を解明し、目標達成度の評価に活用するための基礎資料を整備する。
- 6) 横須賀市特定健診・保健指導への運営支援 (2017.4～継続中)
健診受診率の向上のため、市民アンケート作成のサポートを行っている。
- 7) 厚木市糖尿病重症化予防事業への助言 (2017.10)
厚生労働科学研究に参画している厚木市に、分担研究者として運営に関するサポートを行った。

9 講演, 放送

- 1) 和歌山県保健者協議会「生活習慣病対策担当者研修(肥満・糖尿病)」(和歌山,2017.6)
- 2) 東京都国保連合会「生活習慣病対策担当者研修・重症化対策」.(東京,2017.8.2回)
- 3) 高知県健康政策部「生活習慣病対策担当者研修 (肥満・糖尿病)」(高知,2017.8)
- 4) 宮城県保健福祉部健康推進課「特定健診・保健指導担当者研修(肥満・糖尿病)」

(仙台,2017.9)

- 5) 山口県保健者協議会「生活習慣病対策担当者研修・重症化対策」(山口,2017.9)
- 6) 富山県保健者協議会「生活習慣病対策担当者研修・重症化対策」(富山,2017.9)
- 7) 神奈川県栄養士会「糖尿病療養スキルアップ研修」(横浜,2017.10)
- 8) 北海道国保連合会「生活習慣病対策担当者研修・重症化対策」(札幌,2017.11)
- 9) 山形県鶴岡市「特定健診・保健指導担当者研修(肥満・糖尿病)」(鶴岡,2017.11)
- 10) 広島県国保連合会「糖尿病対策担当者研修・重症化対策」(福山,2018.2)
- 11) 千葉県健康福祉部「生活習慣病対策担当者研修・重症化対策」(千葉,2018.3)
- 12) 神奈川県横浜市「生活習慣病対策担当者研修・重症化対策」(横浜,2018.3)

*1)～12)は、保健者協議会等主催の指導者に対する情報整理、指導スキルアップを目標とした研修会であった。(肥満・糖尿病)は主に特定保健指導、(重症化対策)は糖尿病性腎症を対象とした。

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度 厚生労働科学研究委託費 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業・分担研究者)「糖尿病性腎症 重症化予防プログラム開発のための研究」
交付金はあいち健康の森健康科学総合センターが一括管理 (2016.4.1～2018.3.31)

- 11 学内研究助成金の受託 なし
- 12 受賞 なし
- 13 特許など なし
- 14 その他

- 1) 共同研究：20代減量希望者における体組成、栄養摂取状況の検討
減量を希望する若年女性の栄養摂取状況を解析するため、保健指導機関(株式会社フィットプラス)と協定書を交わし、解析を進めた。

鈴木 志保子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 小笠原悦子, 松田貴雄, 北出真理, 桜庭景植, 葛西隆敏, 鯉川なつえ, 佐藤郁子, 鈴木志保子 (2017), ジュニア女子アスリートヘルスサポートマニュアル p.32- p.39. 東京: 順天堂大学女性スポーツ研究センター

2 学術論文

論文

- 1) 鈴木志保子. (2017). 「ジュニアアスリートの栄養」. 臨床スポーツ医学, 34(6), p622-629.
- 2) 鈴木志保子. (2017). 「公認スポーツ栄養士とスポーツファーマシストとの連携」. 大阪府薬雑誌, 68(11), p5-6.
- 3) 中西朋子, 吉川達哉, 樋口良子, 鈴木志保子. (2017). 「50歳台女性における運動の有無が健康・生活観に及ぼす影響」. 神奈川県立保健福祉大学誌, p21-28

3 その他の著作

報告書・その他

- 1) 森泉哲也, 北村和子, 清久利和, 樽井恵圭子, 長島未央子, 濱田由紀夫, 鈴木志保子 (2017). 栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～. 東京: 文部科学省
- 2) 鈴木志保子. (2017). 特定非営利活動法人日本栄養改善学会平成 29 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」報告書
- 3) 鈴木志保子, どうすれば安心安全～自炊しない人の食事は～. 2017.4.6 東京: 毎日新聞夕刊
- 4) 鈴木志保子, 第 73 回国民体育大会冬季大会スケート競技会 食事に関するリーフレット監修. 2017.8.7 山梨: 第 73 回国民体育大会冬季大会スケート競技会山梨実行委員会

4 学会等での活動

教育講演

- 1) 第 30 回神奈川母性衛生学会 教育講演「女性とスポーツ」 2017.2.4
- 2) 日本栄養士会 平成 29 年度全国栄養士大会 「アスリートへの水分補給の考え方」 2017.8.6

シンポジウム

- 1) 日本栄養士会 平成 29 年度全国栄養士大会 シンポジウム「過去の世界大会での食環境について」 2017.8.7
- 2) 第 65 回日本栄養改善学会学術総会 共催シンポジウム「生きることと食べること～世代による栄養摂取と食べ方の提案～」 2017.9.15

発表

- 1) 佐藤郁子, 鯉川なつえ, 中西朋子, 加藤千穂, 片岡沙織, 鈴木志保子. 女性アスリート外来受診者における多嚢胞性卵巣症候群選手に関する研究. (2017) 日本スポーツ栄養学会
- 2) 中西朋子, 吉川達哉, 樋口良子, 鈴木志保子. 幼児の外遊びと体力・睡眠との関係. (2017) 日本スポーツ栄養学会
- 3) 高村晴美, 柿崎祥子, 安保敏明, 中西朋子, 樋口良子, 鈴木志保子. 高齢者入院患者における再入院に関する研究. (2017) 第 64 回日本栄養改善学会学術総会
- 4) 中西朋子, 高村晴美, 樋口良子, 川久保清, 鈴木志保子. 幼児の平日と休日の生活時間の検討 (2017). 第 64 回日本栄養改善学会学術総会
- 5) 佐藤郁子, 中西朋子, 加藤千穂, 片岡沙織, 鈴木志保子. 女性アスリート外来受診者における月経状況と貧血および疲労骨折との関係 (2017). 第 64 回日本栄養改善学会学術総会

座長・指導助言者

- 1) 第 58 回全国栄養教諭・全国栄養職員研究大会」分科会指導助言者.2017.8.4
- 2) 日本栄養士会 平成 29 年度全国栄養士大会 「スポーツ栄養と油」 座長 2017.8.6
- 3) 日本スポーツ栄養学会第 4 回大会 一般演題「高校男子選手を対象とした栄養サポート」座長.2017.8.20

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

所属している学会：日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、日本体育学会、日本運動生理学会、日本栄養改善学会、日本肥満学会、日本発育発達学会、日本スポーツ栄養学会、日本栄養システム学会、日本公衆衛生学会、日本学校保健学会、日本栄養学教育学会、日本生理人類学学会、スローカロリー研究会、日本スポーツパフォーマンス学会、日本保健福祉学会、日本小児保健協会

- 1) 評議員(代議員)
日本運動生理学学会 2002～, 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 2002.12～,
一般社団法人日本体力医学会 2003.10～, 日本スポーツ栄養学会 2004.10～,
一般社団法人日本肥満学会 2011.1.1～, 公益財団法人三菱養和会 2011.6～,
一般社団法人日本栄養学教育学会(代議員) 2013.9～
- 2) 特定非営利活動法人 NSCA ジャパン日本ストレンクス&コンディショニング協会編集委員会委員 2007.4.～
- 3) NPO 法人日本スポーツ栄養学会 (2014.12 まで日本スポーツ栄養研究会)
理事 2007.6～ 会長 2009.7～2015.7 まで
- 4) 公益社団法人日本栄養士会 理事 2014.～
- 5) 一般社団法人日本肥満学会生活習慣病改善指導士カリキュラム委員会委員 2011.5～
- 6) 横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会委員 2011～
- 7) 横須賀市スポーツ推進審議委員会委員 2012.4.1～

- 8) 鹿屋体育大学 非常勤講師 2014.6～
- 9) 日本栄養改善学会 理事候補者選挙管理委員 2014.9.1～、学会賞等選考委員会委員 2017.11.1～、平成 29 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」WG 委員 2017.6.1～2018.3.31
- 10) 順天堂大学 女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートのコンディション管理に関する研究 研究員 2014.9～2018.3.31
- 11) 神奈川県 3033 生涯スポーツ推進会議委員 2016.6.29～
- 12) 公益財団法人日本体育協会 スポーツ医・科学専門委員会委員 2015.7.10～
- 13) 大学等連携事業「神奈川パラアスリートサポート事業」スタッフ 2017.4.1～
- 14) 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導研究助成事業に係る選考委員会委員 2015.12～
- 15) 神奈川県スポーツ局スポーツ課 3033 生涯スポーツ推進会議委員 2016.6～2018.3.31
- 16) 文部科学省「これからの養護教諭・栄養教諭の在り方に関する検討会議」委員 2016.7.20～2018.3.31
- 17) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「持続可能な調達ワーキンググループ」特別委員 2016.8.26～（期限記載なし）
- 18) 横浜市学校保健審議会会長 2017.1.15～
- 19) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 東京 2020 飲食戦略検討会議委員 2017.3～
- 20) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会女性スポーツ委員会委員 2017.4.1～
- 21) 横須賀市学校給食運営審議会委員 2017.10.1～
- 23) 文部科学省 学校における食育推進に係る協力者会議委員 2017.12.1～2019.3.31

6 学内教育活動

- 1) 応用栄養学実習における教材作成と新規授業内容の検討
- 2) スポーツ栄養学における事例資料の作成

7 学内各種委員会活動

- 1) 栄養学科副学科長
- 2) カリキュラム委員会委員, 2016.4～2018.3
- 3) 研究科運営会委員, 2015.4～2018.3

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおいて参加者に栄養学科授業について説明を行った。
- 2) 鈴木志保子, 神奈川県立弥栄高等学校 スポーツ科学講座での「スポーツ科学」の授業
- 3) 鈴木志保子, 神奈川県 知事と語ろう! 地域の明日での「元気に暮らせる「食と運動」とは」の講演 2016.9.27
- 4) 鈴木志保子, 実践教育センター「子どもの食育」の講演 2017.11.21

外山 健二（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 外山健二（2017）.1. 臨床栄養の概念、2. 傷病者・要介護者の栄養ケア・マネジメント. A. 栄養アセスメントの意義と方法、B. 栄養ケアの目標と計画作成、C. 栄養・食事療法と栄養補給法、D. 傷病者・要介護者への栄養教育、一般社団法人全国栄養士養成施設協会、公益社団法人日本栄養士会監修、サクセス管理栄養士講座・臨床栄養学 I 第4版、第一出版、東京.

2 学術論文

外山健二, 倉貫早智, 中村丁次, 吉武 裕 (2018) : グルタミン酸ナトリウムを添加した食事が青年期女性の食事誘発性熱産生および体表面温度に及ぼす影響. 日本食品科学工学会誌, 65(1) : 15-24.

4 学会等での活動

座長

第33回日本静脈経腸栄養学会学術総会ポスター栄養評価2

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本静脈経腸栄養学会評議員 1998.4.～2015.3.
日本静脈経腸栄養学会代議員 2015.4.～（現在に至る）
日本静脈経腸栄養学会ガイドライン作成委員会委員（現在に至る）
- 2) 日本栄養改善学会評議員. 2002.4.～
日本栄養改善学会雑誌の栄養学雑誌の編集委員会委員. 2015.11.～（現在に至る）
日本栄養改善学会の雑誌の編集委員として定期的に, 編集委員会に出席し, 当該雑誌の 編集方針等の協議に加わっている.
- 3) 日本臨床栄養学会評議員. 2002.4.～
- 4) 日本食育学会 日本食育学会誌編集委員会副委員長. 2017.4.～（現在に至る）
日本食育学会の雑誌の編集委員として年2回, 編集委員会に出席し, 当該雑誌の編集方針等の協議に加わっている.
- 5) 公益社団法人日本栄養士会. TNT-D 委員会委員. 2008.4. ～（現在に至る）

6 学内教育活動

- 1) 外山健二, 藤谷朝実, 徳永美希. 臨床栄養学実習 I .
- 2) 外山健二, 中島 啓, 藤谷朝実, 長瀬香織, 樋口良子. 臨床栄養学実習 II .
- 3) 外山健二, 松本菜々. 臨床栄養学総論
- 4) 外山健二. 臨床栄養学各論 II .
- 5) 杉山みち子, 鈴木志保子, 外山健二, 佐野喜子, 藤谷朝実. 栄養管理学概論.
- 6) 鈴木志保子, 佐野喜子, 外山健二, 松本菜々. 健康科学概論

- 7) 外山健二, 中島 啓, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ.
 - 8) 外山健二, 杉山みち子, 中島 啓, 藤谷 朝実, 五味郁子, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅱ.
 - 9) 卒業研究にて4年生3名を指導した. 2017.4.～2018.3.
 - 10) 大学院専門科目 中村丁次, 中島 啓, 外山健二. 人間栄養学.
 - 11) 大学院専門科目 中村丁次, 中島 啓, 外山健二. 臨床栄養学特論.
 - 12) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程必修科目. 臨床栄養実践活動論において, 経腸栄養法について講義を行った(8時間). 2017.6.24.
 - 13) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程必修科目. 「臨床栄養活動論において, 事例検討演習を行った(4時間). 2017.8.26.
 - 14) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程選択科目. 栄養ケア・マネジメントの展開2において実践病態栄養学について講義を行った(8時間). 2017.10.28.
 - 15) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程. 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開1(品質改善活動)最終発表(8時間). 2016.12.9.
- 7 学内各種委員会活動
- 1) 入試委員会委員 2015.4.～現在に至る
- 8 社会貢献
- 1) 神奈川県立サイエンスフロンティア高等学校 高齢連携授業 「これからの栄養学」 2017.4.20
 - 2) JICA シニア短期ボランティアで 2017.8.28～2017.9.27 までハノイ医科大学病院に派遣され、主として病院における栄養管理に関する支援を行った.
- 9 講演, 放送
- 1) 平成29年度 日本栄養士会 TNT-D 研修会フォローアップ研修会東京会場 講師 大妻女子大学. 2017.12.2.
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 中村丁次, 外山健二, 杉山みち子, 五味郁子, 藤谷朝実, 中島啓, 高田健人, 中原慎二, 山本茂. 科学研究費補助金. 基盤B(一般): ベトナム国医療施設における栄養不良の二重負荷と栄養管理システムの実態. 260万円. 2017.4.～2018.3.

中島 啓 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 岩根泰蔵, 斎藤雅文, 中島 啓 低カロリー甘味料安全性のエビデンス「低カロリー甘味料の生体内運命」 翻訳 栄養学レビュー 2017; 97: 271~297 女子栄養大学出版

2 学術論文

- 1) Nakajima K, Oda E. Ketonuria may be associated with low serum amylase independent of body weight and glucose metabolism. Arch Physiol Biochem. 2017;123:293-296.
- 2) Nakajima K, Iwane T, Higuchi R. The timing of ingestion may influence the effect of nonnutritive sweeteners on cardiometabolic health: a potentially overlooked factor. CMAJ. 2017;189:E1427.
- 3) Nakajima K, Kanda E, Muneyuki T, Suwa K. Asymptomatic trace and overt proteinuria in high- and low body weight individuals: A preliminary report of community based epidemiological study. J Nephropathol. 2018;7:51-56.
- 4) Nakajima K, Suwa K, Toyama K. Age-dependent changes in the association between sleep duration and impaired glucose metabolism. World J Diabetes. 2017;8:397-406.
- 5) Nakajima K, Kanda E, Suwa K. Unexpected association between subclinical hearing loss and restorative sleep in a middle-aged and elderly Japanese population. BMC Res Notes. 2018;11:195.

3 その他の著作

- 1) 「カロリーゼロの甘い罠」週刊朝日 2017年10月13日号 P 128-129

4 学会等での活動

1) 学会発表

柴田みち, 中島啓, 諏訪要 第52回日本成人病(生活習慣病)学会 2018年1月「風邪の罹患に関連する要因および生活習慣」(メディカルトリビューン紙 2018年2月05日掲載)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会 (認定医・総合内科専門医)
- 2) 日本肥満学会 (肥満症専門医)
- 3) 日本動脈硬化学会 (評議員)
- 4) 日本臨床栄養学会 (評議員, 臨床栄養指導医), 学会誌編集委員
- 5) 日本病態栄養学会

- 6) 日本臨床栄養協会（評議員）
- 7) 日本栄養食糧学会 用語策定委員
- 8) 日本糖質制限医療推進協会
- 9) 日本糖尿病学会
- 10) 日本糖尿病協会（療養指導医）
- 11) 日本循環器学会
- 12) 日本未病システム学会
- 13) 日本疫学会（社会医学系専門医・指導医）

6 学内教育活動（期間は、すべて 2017.4~2018.3）

- 2) 臨床医学概論
- 3) 臨床検査学概論
- 4) 臨床栄養学各論 1
- 5) 臨床栄養学実習Ⅱ
- 6) 救急・救命学
- 7) 公衆衛生学Ⅰ
- 8) 人間栄養学特論
- 9) 臨床栄養学特論
- 10) 実践教育センター，栄養ケア・マネジメント課程（3症例検討会）
- 11) 卒業研究指導 4名
博士前期課程 1名 指導教員
博士後期課程 1名 指導教員

7 学内各種委員会活動（期間は、すべて 2017.4~2018.3）

- 1) 研究科運営会議委員
- 2) 倫理審査委員会（副委員長）
- 3) 図書・情報委員会（委員長）

8 社会貢献（期間は、すべて 2017.4~2018.3）

- 1) 埼玉医科大学総合医療センターにおける糖尿病・脂質異常症・肥満症等の外来診療
- 2) 神奈川県後期高齢者医療連合との連携協定

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 浦上食品・食文化振興財団 学術研究助成
「3種類の人工甘味料およびその甘味が糖代謝系に与える影響」2,000（千円）
- 2) ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態 科学研究費 基盤研究(B) 連携研究者

山西 倫太郎（大学院研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2018, MEDIC MEDIA 刊（執筆協力）

4 学会等での活動

- 1) 発表：「食餌の栄養組成や成分量の違いが生体組織の GSH 量に及ぼす影響」向井友花、山西倫太郎、第 71 回日本栄養・食糧学会大会（沖縄）、2016 年 5 月 20 日
- 2) 発表：「レチノールはレチノイン酸への代謝を介さずに RAW264 細胞内のグルタミン酸システインリガーゼ産生を亢進する」山西倫太郎、向井友花、第 71 回日本栄養・食糧学会大会（沖縄）、2016 年 5 月 21 日

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本栄養・食糧学会 参与

6 学内教育活動

- 1) 食品学総論（必修科目）1 年生．2017.4～2017.9
- 2) 食品学各論（必修科目）1 年生．2017.10～2018.3
- 3) 食品機能学（選択科目）2 年生．2017.4～2017.9
- 4) 食品学実験 I（必修科目）1 年生．2017.10～2018.3
- 5) 外書講読（選択科目）3 年生．2017.4～2018.3
- 6) ゼミにおける教育活動 3 年生．2017.4～2018.3
- 7) 総合演習（必修科目）4 年生．2017.4～2017.9
- 8) 特別講義（国試対策）4 年生・オムニバス．2018.2.13、2018.2.14
- 9) 卒業研究（必修科目）4 年生．2017.4～2018.3
- 10) 栄養学科 3 年生（13 期生）担任．2017.4～2018.3
- 11) 大学入試当日業務．2017.9.23、2018.1.13、2018.2.25
- 12) 食品機能学特論（選択科目）大学院生・オムニバス．2017.4～2017.9
- 13) 大学院 1 年生 ランチョンミーティング．2017.6.10
- 14) 大学院最終学年生 イブニングミーティング．2017.12.5
- 15) 大学院入試説明会．2017.6.10
- 16) 大学院入試当日業務．2017.9.24
- 17) 天秤室精密天秤管理．2017.4～2018.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会委員．2017.4～2018.3
- 2) 研究科運営会議委員．2017.4～2018.3
- 3) 研究科入試委員．2017.4～2018.3

- 4) 大学法人化検討会議委員. 2017.4～2018.3
- 5) 図書・情報委員. 2017.4～2018.3

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける栄養学科学生相談室の統轄. 2017.8.5
- 2) ヒューマンサービス公開講座の実行委員. 2017.5.28、2017.10.14

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 山西倫太郎 (研究代表者). 食生活の西洋化は体内システイン量への影響を介して生体機能を左右するか?, 日本学術振興会 科学技術研究費補助金・基盤研究 (C) 17K00925, 直接経費 2,200,000 円+間接経費 660,000 円, 2017.4～2018.3 (2020.3 まで継続予定)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 平成 29 (2017) 山西倫太郎 (研究代表者). ビタミン A (レチノール) はマクロファージ培養細胞の細胞膜を酸化するか? 神奈川県立保健福祉大学 助成研究 B (奨励研究), 総額 526,962 円, 2017.6～2018.3

14 その他

- 1) 7 に挙げた各種委員会以外に、大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻長として、研究科運営会議の事前打ち合わせ会議・研究科委員会の事前打ち合わせ会議への出席、入学式への出席および呼名、入学時オリエンテーションにおける説明、博士前期各領域の中間報告会・博士後期各院生の研究計画発表会&中間報告会への参加、大学院入試合否判定会議等への出席、修士論文発表会における進行役等、種々の業務を担当した。

倉貫 早智 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) T. Nakamura, S. Kuranuki Nutrition—Macronutrients, Encyclopedia of Cardiovascular Research and Medicine, p531-537, 2018

2 学術論文

- 1) 倉貫 早智. 「栄養ケアステーションの取り組み」 Functional Food 11(2) 151-153, 2017.12.
- 2) 外山 健二, 倉貫 早智, 中村 丁次, 吉武 裕. 「グルタミン酸ナトリウムを添加した食事が青年期女性の食事誘発性熱産生および体表面温度に及ぼす影響」 日本食品科学工学会誌 65(1), 2018.01

4 学会等での活動

- 1) 飯田 綾香 1,2), 山内 良子 3,4), 倉貫 早智 1), 中村 強 2,3, 網羅的解析による NASH モデルマウスの炎症関連遺伝子の探索, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会 2017.9

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本臨床栄養協会 評議委員 2017.4～2018.3.
- 2) 日本臨床栄養学会 「日本臨床栄養学会雑誌」編集委員 2017.4～2018.3
- 3) 日本臨床栄養学会評議員 2017.4～2018.3

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科必修科目「基礎栄養学, 基礎栄養学実験, 生化学 I, 生化学 II, 生化学実験」の担当を行った. 2017.4～2018.3
- 2) 看護学科科目(栄養学)をオムニバスで担当した. 2017.4～2018.3
- 3) 実践教育センター「平成 29 年度教員免許状更新講習会」で「子どもの食育」を担当した. 2017.8.
- 4) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント課程」の開講科目(臨床栄養実践活動論)を一部担当した. 2017.9.
- 5) 卒論研究(4 年次学生 3 名)および修士論文作成にかかわる研究(大学院博士前期課程 1 名)の指導を行った. 2017.4～2018.3.

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員 2017.4～2018.3.
- 2) 研究助成専門部会部会長 2017.4～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 平成29年度 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパスにて、質問コーナーを担当。2017.8.
- 2) 本学大学説明会にて模擬授業を行った。2017.6.24.
- 3) 「未病を治す栄養サポート事業」の一環として栄養サポートセンター／ステーションの企画運営に参画。2017.4～2018.3
- 4) 味の素株式会社との本学（学生）との連携企画である’ラブベジ（野菜レシピ）’の取りまとめに参画。2017.4～2018.3。
- 5) 神奈川県が進める「医食農同源」に関する事業の一環として、すかなごっそ（JA・横須賀市）との連携事業を実施した 2018.1～2018.3
- 6) 平成29年度第1回神奈川県医食農同源研究会にて、県立保健福祉大学の取組について報告。2018.3.

9 講演，放送

- 1) 新聞掲載（朝日新聞全国版朝刊）みかんでイキイキ！健康セミナーの概要が掲載された。2017.11.30.

向井 友花 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 向井友花. 3. 食品保蔵の方法. 海老原清, 渡邊浩幸, 竹内弘幸 編. 栄養科学シリーズ NEXT 食べ物と健康, 食品と衛生 食品加工・保蔵学. 講談社サイエンティフィク. 2017年7月21日発行.

2 学術論文

- 1) Matsumoto E, Kataoka S, Mukai Y, Sato M, Sato S. Green tea extract intake during lactation modified cardiac macrophage infiltration and AMPK phosphorylation in weanling rats from undernourished mother during gestation and lactation. *Journal of Developmental Origins of Health and Disease* **8(2)**:178-187 (2017).
- 2) Tanaka M, Kita T, Yamasaki S, Kawahara T, Ueno Y, Yamada M, Mukai Y, Sato S, Kurasaki M, Saito T. Maternal resveratrol intake during lactation attenuates hepatic triglyceride and fatty acid synthesis in adult male rat offspring. *Biochemistry and Biophysics Reports* **9**:173-179 (2017).
- 3) Uson-Lopez RA, Kataoka S, Mukai Y, Sato S, Kurasaki M. Melinjo (*Gnetum gnemon*) seed extract consumption during lactation improved vasodilation and attenuated the development of hypertension in female offspring of fructose-fed pregnant rats. *Birth Defects Research* **110(1)**:27-34 (2018).

3 その他の著作

- 1) クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2018, 解説執筆. MEDIC MEDIA. 2017年7月1日発行.

4 学会等での活動

- 1) 向井友花, 山西倫太郎. 食餌の栄養組成や成分量の違いが生体組織の GSH 量に及ぼす影響. 第 71 回日本栄養・食糧学会大会, 2017 年 5 月 19-21 日, 沖縄.
- 2) 山西倫太郎, 向井友花. レチノールはレチノイン酸への代謝を介さずに RAW264 細胞内のグルタミン酸システインリガーゼ産生を亢進する. 第 71 回日本栄養・食糧学会大会, 2017 年 5 月 19-21 日, 沖縄.
- 3) 向井友花, 真下温子, 飯島史奈, 佐藤伸. タカキビ抽出物が糖尿病ラットの脂質代謝に及ぼす影響. 日本食品科学工学会第 64 回大会, 2017 年 8 月 28-30 日, 神奈川.
- 4) 星英美香, 向井友花. システインおよびロイシンの同時摂取が高脂肪食マウスの脂質代謝に及ぼす影響. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会, 2017 年 9 月 13-15 日, 徳島.
- 5) 櫻井南奈, 片岡沙織, 向井友花, 佐藤伸. 胎生期及び乳児期に高脂肪食に曝された雄性仔ラットの成長後の脂肪組織に及ぼす緑茶抽出物の影響. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会, 2017 年 9 月 13-15 日, 徳島.
- 6) 高橋あかね, 佐藤恵, 梶田光里, 片岡沙織, 向井友花, 乗鞍敏夫, 佐藤伸. 高脂肪食摂

取ラットの脂肪組織及び骨格筋中の炎症細胞の浸潤に及ぼすジャワショウガ並びに運動負荷の影響. 第64回日本栄養改善学会学術総会, 2017年9月13-15日, 徳島.

- 7) 高橋あかね, 佐藤恵, 梶田光里, 向井友花, 乗鞍敏夫, 佐藤伸. 高脂肪食摂取ラットの脂肪組織における炎症細胞の浸潤に及ぼすジャワショウガ投与および運動負荷の影響. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2017年12月16日, 青森.
- 8) 佐藤恵, 高橋あかね, 梶田光里, 向井友花, 乗鞍敏夫, 佐藤伸. 高脂肪食摂取ラットの血漿中インスリン濃度及び骨格筋中の炎症細胞の浸潤に及ぼすジャワショウガ並びに運動負荷の影響. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2017年12月16日, 青森.
- 9) 櫻井南奈, 向井友花, 佐藤伸. 授乳期に摂取する茶カテキン類は胎生期及び授乳期に高脂肪食に曝された雄性仔ラットの脂肪組織における炎症を抑制する. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2017年12月16日, 青森.

6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 食品衛生学, 食品衛生学実験, 食品加工学, 食品学実験Ⅱ, 総合演習(栄養教諭), 外書購読, 総合演習(ゼミ), 卒業研究(担当4年4名, 3年4名), 保健医療福祉論Ⅰ.
- 2) 大学院研究科担当科目: 食品機能学特論, 栄養実践活動調査研究特論演習, 食品健康科学特論.
- 3) 大学院研究科 栄養学特別研究(博士前期課程2年1名) 研究指導教員.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 副委員長 2017.4～2018.3
- 2) 動物実験専門部会 委員 2017.4～2018.3
- 3) 研究科入試委員会 委員 2017.4～2018.3

8 社会貢献

- 1) 横須賀高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)における研究指導 2017.4～2018.2
- 2) 神奈川県立追浜高校における出張模擬授業. 2017.10.17
- 3) 神奈川県立霧が丘高校における出張模擬授業. 2018.1.11

9 講演, 放送

- 1) 平成29年度子どもの食育支援研修 講師. 「安全安心な食事提供をめざして—食品衛生の基礎～微生物学の視点から—」. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター, 2018.1.11

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 佐藤伸, 向井友花, 乗鞍敏夫. 次世代の肥満予防を目指した発育初期のポリフェノール摂取効果の検証と分子機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 3,500千円(平成29年度分担金300千円), 2017.4～2020.3

- 2) 山西倫太郎, 向井友花. 食生活の西洋化は体内システイン量への影響を介して生体機能を左右するか?. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 3,500 千円 (平成 29 年度分担金 200 千円), 2017.4～2020.3
- 3) 中村丁次, 外山健二, 他. ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 3,500 千円 (連携研究者: 分担金なし), 2017.4～2020.3

11 学内研究助成金の受託

- 1) 向井友花. 食品成分が大腸上皮細胞のレドックスバランスとアポトーシスに及ぼす影響に関する研究. 研究助成 B (奨励研究), 395.340 千円, 2017.6～2018.3
- 2) 向井友花. 高脂肪食誘発肥満ラットにおける慢性炎症や筋委縮の抑制に寄与する食品成分に関する研究. 栄養学科研究費, 150 千円, 2017.9～2018.3

藤谷 朝実 (大学院研究科兼務)

1 著書

2 学術論文

- 1) Asami Fujitani, Tsuyoshi Sogo, Ayano Inui, Kiyoshi Kawakubo, "Prevalence of Functional Constipation and Relationship with Dietary Habits in 3-to 8-Years-Olds Children in Japan," Gastroenterology Research and practice, Vol.2018, Article ID3108021, 8pages

3 その他の著作

- 1) 藤谷朝実. (2017) 正しく指示する 食事指導・食事療法 小児に対する食事の指導、小児科、Vol58(12),1395-1403
- 2) 藤谷朝実 (2017) 病気と栄養のしくみ 栄養状態から病気と健康の境目を知る、美しくなる食事療法、Vol4. 66-71
- 3) 藤谷朝実 (2017) 病気と栄養のしくみ 主要エネルギー「糖質」、美しくなる食事療法、Vol5. 96-101

4 学会等での活動

- 1) 藤谷朝実 (2017)、糖尿病管理に対する大麦食の実際とその効果 第 60 回日本糖尿病学会ランチョンセミナー講演
- 2) 藤谷朝実. (2017) 第 9 回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部学会 ランチョンセミナー座長 「乳和食」
- 3) 藤谷朝実 管理栄養士の病棟配置を効率的に運用するために解決すべき課題、第 17 回日本健康・栄養システム学会 シンポジウム I シンポジスト
- 4) 本脇奈理子 齋田真理 藤谷朝実 BDHQ3y を用いた幼児の食事・栄養摂取量に関する検討 3～4 歳を対象とした横浜市の調査結果から 第 17 回日本健康・栄養システム学会
- 5) 本脇奈理子、齋田真理、藤谷朝実、 BDHQ3y を用いた幼児の食事・栄養摂取量に関する検討 3～4 歳を対象とした横浜市の調査結果から 第 21 回日本病態栄養学会
- 6) 浅見桃子、藤谷朝実、もち種大麦を調理する際の水分量並びに大麦混合率の検討、第 21 回日本病態栄養学会

5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本健康栄養システム学会 理事 (2016 年 4 月～現在)
- 2) 日本臨床栄養協会・日本臨床栄養学会中心となった委員会 (他 7 学会が共同参加) 小児専門栄養士設立委員 (2016 年 12 月～現在)
- 3) ウィルソン病患者会 子ども会 WILDREN 運営委員：ウィルソン病患者会の一つとして 2009 年に東部病院の医師・看護師・CLS が中心となって設立した会であり、そ

の中で管理栄養士として助言並びに会の運営のサポートを行っている。(2009年6月～現在)

- 4) 日本静脈経腸栄養学会国際委員 LLLWG (2017年4月～現在)

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科4年生2名に対し卒業研究並びに論文作成指導を行った。
- 2) 栄養学科2年生に対し、調理学実習の授業並びに教材作成を行った。毎回提出されるレポートの確認を行い、実習の習得度や理解について評価並びに不足についてはコメント等で補完した。(2017年4月～7月)
- 3) 栄養学科1年生に対し、調理学の授業を行い授業に必要な教材作成を行った。(2017年10月～2018年1月)
- 4) 栄養学科学生に対し、比較食文化論の授業・並びに教材作成を行った。(2017年4月～5月)
- 5) 臨床栄養実践調理学研究室に所属する3、4年生のゼミ生8名に対して、原則として毎週月曜日に文献抄読を中心とした学習を行った(2017年4月～2018年3月)
- 6) 大学院修士課程の学生(林純平)に対し、倉貫早智指導准教授の副指導員として研究指導並びに論文指導を行った(2017年4月～現在に至る)
- 7) 大学院修士課程1年生に対し、「病院におけるNCMについて」講義・教材作成を行った(2017年7月18日)
- 8) 栄養学科3、4年生の臨床栄養臨地実習に際し、実習施設を訪問し巡回指導を行った
- 9) 栄養学科一年生に対し、栄養管理概論として「病院における管理栄養士の役割」について講義を行った。(2017年7月6日)
- 10) オープンキャンパス時に調理の授業に関する説明を行うとともに授業風景の様子を展示した
- 11) うみかぜ祭開催に当たって、提供する食事や衛生管理について助言を行った。
- 12) 栄養学科3年生の臨床栄養学実習Ⅱの授業において、外山教授の補助として学生指導を行った。(2017年10月～2018年1月)
- 13) 栄養学科2年生の担任として必要に応じて生活指導等実施した。
- 14) 栄養学科3年生に対し、応用栄養学実習として、調乳・離乳食の実際について授業・教材作成を行った(2017年10月20日)
- 15) 栄養学科3年生に対し、栄養教育論総論として母子栄養並びに障害者栄養教育論について講義並びに教材を作成した(2017年5月11日、25日)
- 16) 栄養学科3年生に対し、栄養教育論各論として妊娠・出産・乳児期の栄養教育について講義並びに教材を作成した(2018年1月16日、23日、30日)
- 17) 大学センター入試において試験監督を行った。
- 18) 大学入学試験において前期・後期入試ともに面接官として入学志願者の面接試験を行った(2018年2月25日、3月12日)

7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働委員会 (2016年5月～現在に至る)

- 2) 医療保健福祉論タスクフォース委員（2016年5月～現在に至る）
- 3) 実習センター委員（2017年4月～現在に至る）
- 4) 臨地実習ワーキンググループ委員（2016年5月～現在に至る）

8 社会貢献

- 1) 日本健康栄養システム学会主催の臨床栄養師資格取得に向けての勉強会で低栄養の機序並びに栄養管理の方法等症例を通して講義・教材の作成（6月10日）
- 2) 神奈川県立実践教育センターの栄養ケア・マネジメント課程において、栄養ケア・マネジメントの展開（品質改善活動）に関する受講生の指導を行った。
- 3) 神奈川県立実践教育センターの栄養ケア・マネジメント課程においてヒューマンサービスを高める事例検討に関する受講生の指導を行った。
- 4) 神奈川県立実践教育センターの栄養ケア・マネジメント課程において、臨床検査並びに静脈栄養法について講義並びに教材作成を行った。
- 5) 神奈川県立実践教育センターのこどもの食育支援研修において、小児と成長と栄養について講義並びに教材作成を行った。
- 6) 神奈川県が主催する障害者支援の一環として「みんな集まれプロジェクト」にアドバイザーとして参加し、神奈川県開催するイベントに障害者施設が参加するサポートを行った。
- 7) Me-Byo サミットの開催に向けて、箱根富士屋ホテルが提供するバンケット料理に対する助言並びに献立の英訳、並びにメニューカードの作成等を行った。
- 8) ESPEN（Europa society of parenteral and enteral nutrition）において LLL(Long life learning)の指導者資格を取得した。
- 9) 神奈川県政策研修の一環として来日された Hanoi 医科大学病院の栄養医（Dr.Linh）の神奈川県内の病院等で実施される研修に同行し、サポートを行った。（2018年2月～3月）
- 10) 済生会横浜市東部病院において毎週水曜日の PNST（小児科 NST）に参加し、小児期の栄養管理に関する助言サポートを行った（2017年4月～2018年3月）
- 11) 済生会横浜市東部病院において金曜日の午後、小児消化器専門外来の一環として小児代謝障害、肝疾患を中心とした栄養相談を行った（2017年4月～2018年3月）
- 12) たくこどもクリニック（神奈川県川崎市柿生）において月一回土曜日に成長障害や食事摂取に問題がある子ども・ご家族の栄養相談を行った（2017年4月～2018年3月）
- 13) たくこどもクリニックにおいて月1回離乳食教室を開催した（2017年8月～2018年3月）
- 14) 千葉県立医療保健大学において、障害児・者の栄養管理について講義・教材作成を行った（2017年12月～2018年2月）
- 15) ESPEN LLL topic20-1 “Nutrients in the prevention of cardiovascular diseases”, 20-2 “Nutrition in the Prevention of Osteoporosis” の講義（2017年3月18日）

9 講演、放送

- 1) 「高血圧症の食事管理～食塩の制限はなぜ必要か～」日本メディカル協会 栄養士部
会研修会 松山、仙台、名古屋、大阪、東京、札幌での講演 (2017年6月1, 9,
15, 16, 29日 11月9日)
 - 2) 「支援が必要なこどもの栄養管理」長野県栄養士会 (2017年7月24日)
 - 3) 「集団給食における調理の工夫と衛生管理 大量調理施設管理マニュアルのポイント」平成29年度学校給食調理員研修講座 (2017年7月27日)
 - 4) 「個人を対象とした栄養指導」神奈川県栄養士会生涯研修 (2017年7月29日)
 - 5) 「衛生管理を中心とした衛生管理」日清医療食品 (2017年8月29日)
 - 6) 「備えあれば憂いなし」神奈川県立保健福祉大学市民公開講座 (2017年10月14日)
 - 7) 「腎機能の考えた食事とは 栄養評価に基づく食事相談」第4回湘南・西湘糖尿病透
析予防指導管理セミナー (2017年11月29日)
 - 8) 「医師・管理栄養士によるママを対象とした子どもの感染症 対処法セミナー」教え
て! 「かくれ脱水」委員会 (2017年12月11日)
 - 9) 嘔吐、下痢 すぐに経口補水液 冬の脱水に注意 産経新聞子育て・教育紙面
(2018年1月24日)
 - 10) 「次世代のリーダーに伝えたいこと」神奈川県保健福祉大学実践教育同窓会
(2018年2月3日)
 - 11) “Why is Children’s Nutrition Care Necessary?” Hanoi medical university
hospital (2018年3月29日)
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 中村丁次、外山健二、杉山みち子、中島啓、五味郁子、藤谷朝実、高田健人、中原慎
二、山本茂、松本菜々 ベトナム国 医療施設における「栄養不良の二重負荷」と
栄養管理システムの実態 平成29年度科学研究費助成基盤 B
 - 2) JICA 短期シニアボランティア支援 ハノイ医科大学病院における NCM システムの
構築
- 11 学内研究助成金の受託
なし
- 12 受賞
なし
- 13 特許など
なし

五味 郁子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 五味郁子：健康体操教室参加高齢者の血清アルブミン値と10年間の変化ならびに身体計測値、食生活状況。平成29年度高齢者における健康維持増進のための総合的 pursuit 研究報告書（研究代表者 松尾祐子）pp15-18.2018年1月。

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 2017.4～2018.6

8 社会貢献

- 1) JICAによるハノイ医科大学病院における栄養管理体制の構築支援活動（国内調整）。2017.4.1～2017.6
- 2) 五味郁子。日本健康・栄養システム学会 臨床栄養士研修講師「栄養教育（保健指導）」2017.6.8

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 五味郁子（研究代表者）。地域高齢者のための食生活サポートネットワークの構築に関する研究。平成29年度科学研究費助成事業（若手研究（B））2,700千円。2014.4～2019.3
- 2) 五味郁子（研究分担者）。ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態。平成29年度科学研究費助成事業（基盤研究B）（研究代表者 中村丁次）2,000千円。
- 3) 五味郁子（研究分担者）。高齢者における疫学的健康調査（研究代表者 松尾祐子）、神奈川県立保健福祉大学協働研究 A,122,362円、地域貢献研究センター助成 78,550円。

駿藤 晶子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 鈴木志保子，駿藤晶子．ヘルシーダイアリー．東京：日本栄養士会（2017）

2 学会等での活動

- 1) 塩原由香，村山伸子，山本妙子，石田裕美，中西明美，駿藤晶子，吉岡有紀子他．小学5年生の家庭での食事における料理の種類とその組合せ．第64回日本栄養改善学会学術総会（2017.9）
- 2) 駿藤晶子，樋口良子，山本妙子．給食経営管理論実習における学生の知識・技術到達度に及ぼす要因の検討．第13回日本給食経営管理学会学術総会（2017.11）

3 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本栄養学教育学会 幹事

6 学内教育活動

- 1) 駿藤晶子．給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 2) 駿藤晶子，樋口良子．給食経営管理論実習
- 3) 駿藤晶子，樋口良子．給食経営管理論臨地実習
- 4) 駿藤晶子他．実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程（ヒューマンサービスを高める事例検討）
- 5) 杉山みち子，駿藤晶子他．実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程（品質改善活動）
- 6) 駿藤晶子，卒業論文研究の指導

7 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援委員会
- 2) 国家試験連絡担当

8 社会貢献

- 1) 駿藤晶子，樋口良子．平成29年度第1回セルフメディケーション研修会（神奈川県薬剤師会）講師．（2017.4）
- 2) 駿藤晶子．平成29年度特定給食施設等栄養管理講習会（小田原保健福祉事務所足柄上センター）事例発表 講師．（2017.6）
- 3) 駿藤晶子，樋口良子．平成29年度専門職員研修 VI健康管理「食生活セミナー」講師．（2017.9）
- 4) 駿藤晶子．第67次三浦半島地区教育研究集会 養護教諭と栄養教諭・学校栄養職員の分科会にて「横須賀市の学校給食における食物アレルギーの個別対応の市統一化に向けた取り組み」共同研究者．（2017.10）

- 5) 駿藤晶子. 高校へ出張講義(模擬授業). 神奈川県立戸塚高等学校, 神奈川県立港北高等学校 (2017.11)

9 学内研究助成金の受託

- 1) 駿藤晶子, 樋口良子. 「真空調理法を用いた調味料の浸透性に関する研究および給食経営管理論実習内での真空調理法についての学生の知識・技術到達度調査」平成 29 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B (奨励研究), 115 千円

飯田 綾香

4 学会等での活動

- 1) 飯田綾香、秋山萌、上芝原志織、芳丸美佳子、幸里美、山下紗生、山内良子、島本周、中村強. 新規な水溶性食物繊維の投与が NASH 発症に及ぼす影響. 第 71 回日本栄養・食糧学会大会 (沖縄). 2017.5.
- 2) 中村強、飯田綾香、沈穎昇、都地未希、大谷まどか、吉田佳歩、太田雅規、梅野 彩、堀江祐範、七里元督、室富和俊、吉田康一. 自発的運動が健常マウス及び NASH 病態モデルマウスの酸化ストレスに及ぼす影響. 第 71 回日本栄養・食糧学会大会 (沖縄). 2017.5.
- 3) 飯田綾香、山内良子、倉貫早智、中村 強. 網羅的解析による NASH モデルマウスの炎症関連遺伝子の探索. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会. 2017.9.
- 4) 沈穎昇、飯田綾香、太田雅規、中村強. 自発的運動が健常及び NASH 病態マウスの体組成ならびに酸化ストレスに及ぼす影響. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会. 2017.9.
- 5) 飯田綾香、正木孝幸、清家正隆、中村強. NASH 病態モデルマウス (STAM マウス) の病態進展と血中アミノ酸プロファイルの経時変化. 第 42 回日本肝臓学会西部会 2017.12.
- 6) 高橋実旺、飯田綾香、中村強. TSOD マウスによる自発運動もしくは強制運動が NASH の発症に及ぼす影響について. 第 12 回 TSOD (肥満・糖尿病) マウス研究会. 2018.3.

6 学内教育活動

【学部担当科目】

- 1) 倉貫早智、飯田綾香. 生化学実験 (必修). 2017.4～2017.8
- 2) 倉貫早智、飯田綾香. 基礎栄養学実験 (必修). 2017.10～2017.12
- 3) 山本妙子、五味郁子、向井友花、飯田綾香. 総合演習 (栄養教諭課程). 2017.4～2017.8
- 4) 山本妙子、鈴木志保子、飯田綾香. 教職実践演習 (栄養教諭課程). 2017.10～2018.1
- 5) 臼井正樹、高田健人、飯田綾香. ヒューマンサービス総合演習 (必修). 2017.11～2018.2

【学部担当科目 (臨地実習)】

- 6) 山本妙子、飯田綾香. 栄養教育実習 (栄養教諭課程). 2017.4～2018.3

【その他】

- 7) 山本妙子、飯田綾香、長谷川江都子. 実践教育センター「子どもの食育支援研修」. 2017.11～2018.2 (5回)
- 8) 杉山みち子、五味郁子、佐野喜子、藤谷朝実、高田健人、徳永美希、樋口良子、長瀬香織、飯田綾香、長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 品質改善活動 中間発表
- 9) 国家試験対策講義. 2017.12～2018.1 (3回)

7 学内各種委員会活動

- 1) 栄養学科教務委員補佐.
- 2) 栄養学科予算委員会.
- 3) 栄養学科試薬管理担当者

8 社会貢献

- 1) 飯田綾香. ヨコスカ調理製菓専門学校 非常勤講師 (食品学). 2017.4～2018.3
- 2) 栄養学科オープンキャンパス. 実験実習室ツアー・個別相談担当. 2017.8
- 3) 三浦フレッシュやさい栽培収穫体験ボランティア補佐. 2017.7～2017.11
- 4) 横須賀ライオンズスポーツクラブ食育講習会 (ジュニアアスリートのための栄養・食事) 2018.1

9 講演, 放送

- 1) 高田健人、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、中島啓、杉山みち子、中村丁次. 「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究－初年度の経過と課題－. 平成 29 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会. 2017.7

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 中村強、飯田綾香. 腸内細菌叢と非アルコール性脂肪性肝炎の病態進展との関連に関する基礎的検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)、平成 29 年度分担金 600 千円、2017.4～2020.3

11 学内研究助成金の受託

- 1) 飯田綾香. 分岐鎖アミノ酸による非アルコール性脂肪肝炎改善効果に関する基礎的研究. 研究助成 B (奨励研究)、2017.7～2018.2
- 2) 飯田綾香. NASH 病態における血中アミノ酸プロファイルと慢性炎症に関する研究. 栄養学科研究費、150 千円、2017.6～2018.3

14 その他

- 1) 「3・1・2 弁当箱法」担当者養成研修修了. 2017.12

高田 健人

2 学術論文

- 1) 高田健人, 杉山みち子(2017). 【高齢者のフレイル対策】 高齢者の保健指導と低栄養対策. 地域保健. (2424-0826) 48 巻 4 号 Page24-27.
- 2) 杉山みち子, 小山秀夫, 高田和子, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 苅部康子, 高田健人, 田中和美, 堤亮介, 遠又靖丈, 長瀬香織, 西村秋生, 西宮弘之, 野地有子, 馬場真佐美, 和田涼子, 松山紗奈江, 藤川亜沙美, 長谷川未帆子(2018). 平成 29 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分) 認知症対応型共同生活介護における栄養管理のあり方に関する調査研究事業. 報告書. 一般社団法人日本健康・栄養システム学会.
http://www.j-ncm.com/pdf/H29mhlw_Repo20180406.pdf

4 学会等での活動

- 1) 高田健人, 松山紗奈江, 藤川亜沙美, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 長瀬香織, 苅部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 杉山みち子. 介護保険施設における入所者 80 名あたり管理栄養士 2 名配置体制による<入院>・<在宅復帰>に対する影響. 第 17 回日本健康・栄養システム学会大会(2017.06, 愛知県).
- 2) 松山紗奈江, 高田健人, 藤川亜沙美, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 長瀬香織, 苅部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 杉山みち子. 介護保険施設における入所者 80 名あたり管理栄養士 2 名配置体制による栄養ケア・マネジメントの構造・プロセス・アウトカムの評価. 第 17 回日本健康・栄養システム学会大会(2017.06, 愛知県).
- 3) 藤川亜沙美, 高田健人, 杉山みち子, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫. 介護保険施設入所者高齢者の栄養ケア・マネジメントにおける効果的なミールラウンドのあり方に関する研究. 第 17 回日本健康・栄養システム学会大会(2017.06, 愛知県).
- 4) 長瀬香織, 田中和美, 磯部壮一郎, 高田健人, 杉山みち子, 中原慎二, 市川政雄. 地域在住要支高齢者の低栄養に影響する生活・環境要因における横断研究. 第 17 回日本健康・栄養システム学会大会(2017.06, 愛知県).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県栄養士会研究教育事業部会 役員 (ホームページ委員)

6 学内教育活動

<学部担当科目(必修・選択科目)>

- 1) 向井友花, 高田健人. 食品衛生学実験. 5/8- 6/26
- 2) 松尾裕子, 岩崎俊晴, 高田健人. 生体機能学実験. 5/25
- 3) 杉山みち子, 高田健人, 他. 栄養教育各論 I . 6/29 「地域在住高齢者の栄養教育」
- 4) 杉山みち子, 佐野喜子, 藤谷朝実, 高田健人, 他. 栄養教育各論 II . 10/3-12/19

12/5 「地域在住高齢者の介護予防・栄養改善」

12/19 「認知症を有する高齢者の栄養ケア・マネジメント」

- 5) 杉山みち子, 佐野喜子, 藤谷朝実, 高田健人, 他. 栄養教育論実習. 10/3-11/28
- 6) 佐野喜子, 高田健人. 公衆栄養学実習. 10/4- 1/24
- 7) 金 龍哲, 臼井正樹, 飯田綾香, 高田健人 他 ヒューマンサービス総合演習. 1/9
- 8) 杉山みち子, 高田健人, 他. 外書購読. 4/13-7/27

<学部担当科目（臨地実習）>

- 1) 佐野喜子, 高田健人. 公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ. 4/21, 5/8- 5/26, 7/18-22（学内オリエンテーション・報告会: 4/6, 4/26, 7/1, 7/25, 7/26, 11/22）
- 2) 外山健二, 中島啓, 杉山みち子, 鈴木志保子, 倉貫早智, 五味郁子, 駿藤晶子, 長瀬香織, 徳永美希, 高田健人 他. 臨床栄養学臨地実習Ⅱ.（鶴巻温泉病院、ライフプラザ鶴巻 6/27 中間評価）
- 3) 中島啓, 外山健二, 杉山みち子, 鈴木志保子, 倉貫早智, 五味郁子, 駿藤晶子, 長瀬香織, 徳永美希, 高田健人 他. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ.（藤沢市民病院 2/27 中間評価）

<学部担当科目（その他）>

- 1) 高田健人. 栄養学科国家試験対策特別講義「疫学・栄養疫学・食事調査法」 10/2, 12/25

<実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程担当科目>

- 1) 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1（品質改善活動）「情報の活用」 7/8
- 2) 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1（品質改善活動）「文献レビュー」 7/15
- 3) 駿藤晶子, 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織 長谷川江都子. 事例検討（ヒューマンサービスを高める事例検討） 7/15, 9/9, 9/30
- 4) 杉山みち子, 藤谷朝実, 佐野喜子, 外山健二, 高田健人, 飯田綾香, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1（品質改善活動）【中間発表】 10/21 【最終発表】 12/19

<卒業研究等指導補助>

- 1) 卒業論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室（指導教員 杉山みち子）4年生 4名, 3年生 4名の卒論指導補助（指導教員のもと、文献検索・統計解析・論文作成に関する指導）：①山内春花「特別養護老人ホーム入所高齢者におけるミールラウンドのあり方について：「施設内看取り」との関連から」、②米本海咲「介護老人保健施設入所高齢者におけるミールラウンドのあり方について：「在宅復帰」との関連から」、③神保七海「介護保険施設における＜低栄養＞＜経口維持の取り組み＞が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響」、④小峯ひかる「介護保険施設における栄養ケア・マネジメントの構造及び経過が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響」
- 2) 修士論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室（指導教員 杉山みち子）修士課程 2年 1名の修士論文指導補助（指導教員のもと、研究計画・文献検索・統計解析等の指導）：①松山紗奈江. 「介護保険施設における経口維持による看取り及び在宅復帰支援のための栄養ケア・マネジメントの評価に関する研究」
- 3) その他、栄養学科学生の卒論作成における統計解析指導

<その他>

1) オープンキャンパスにおける栄養学科学生指導

7 学内各種委員会活動

- 1) 卒業式・入学式実行委員会
- 2) Hexagon 編集委員
- 3) 栄養学科臨地実習ワーキンググループ

8 社会貢献

- 1) 「神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究」において、住民高齢者の栄養相談や栄養カフェによる栄養改善の取り組み、夏祭りへのボランティア参加（研究代表者）
- 2) 神奈川県栄養士会 第4 県民活動事業部会 イベントボランティア（6/4 ふれあいフェスティバル）
- 3) 横須賀地区栄養士連絡協議会イベントボランティア（4/2 うわまち浪漫さくら祭り、7/7 うわまち浪漫灯籠祭り）

9 講演，放送

- 1) 平成 29 年度ゆめクラブ大学「地域で見守る『食生活とフレイル』」（10/26、神奈川県立保健福祉大学 階段教室）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 高田健人（研究代表者）、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、藤川亜沙美、中島啓、杉山みち子、中村丁次との共同研究事業：神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究（2 年目 1,081 千円）※28-30 年度の3年間の継続事業
- 2) 杉山みち子、小山秀夫、高田和子、宇田淳、榎裕美、大原里子、加藤昌彦、苅部康子、高田健人、田中和美、堤亮介、遠又靖丈、長瀬香織、西村秋生、西宮弘之、野地有子、馬場真佐美、和田涼子、松山紗奈江、藤川亜沙美、長谷川未帆子。平成 29 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）認知症対応型共同生活介護における栄養管理のあり方に関する調査研究事業
- 3) 中村丁次、外山健二、杉山みち子、中島啓、藤谷朝実、五味郁子、高田健人、山本茂、中原慎二、向井友花。ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態(平成 29 年度科学研究費助成事業 基盤研究 B 2,600 千円)※29-31 年度の3年間の継続研究
- 4) 中島啓、岩根泰蔵、樋口良子、杉山みち子、高田健人 他。ナショナルデータベースを用いた生活習慣病の臨床疫学研究 — 神奈川県における横断・縦断解析 —

14 その他

- 1) 神奈川県栄養士養成施設協会 管理栄養士養成部会 臨地実習（公衆栄養分野）担当

- 2) 神奈川県立保健福祉大学同窓会栄養学科委員会「おむすびの会」事務局長

徳永 美希

2 学術論文

- 1) Setsu R, Hirano Y, Tokunaga M, Takahashi T, Numata N, Matsumoto K, Masuda Y, Matsuzawa D, Iyo M, Shimizu E, Nakazato M. Increased Subjective Distaste and Altered Insula Activity to Umami Tastant in Patients with Bulimia Nervosa. *Front Psychiatry*.8,1-12.2017.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀地区栄養士連絡協議会事務局

6 学内教育活動

- 1) 外山健二，藤谷朝実，徳永美希．臨床栄養学実習Ⅰ（必修科目）3 学年．2017.04～2017.07
- 2) 山西倫太郎，徳永美希．食品学実験Ⅰ（必修科目）1 学年．2017.10～2018.02
- 3) 外山健二，中島啓，五味郁子，藤谷朝実，徳永美希，長瀬香織．臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ（必修科目）3・4 学年．2017.04～2018.03
- 4) 山本妙子，五味郁子，向井友花，飯田綾香，徳永美希．総合演習（栄養教諭）4 学年．2017.04～2017.07
- 5) 高田健人，徳永美希．実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開（品質改善活動）情報の活用
- 6) 藤谷朝実，駿藤晶子，高田健人，徳永美希，樋口良子，長瀬香織，長谷川江都子．実践教育センター 事例検討（ヒューマンサービスを高める事例検討）
- 7) 杉山みち子，徳永美希他．実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開（品質改善活動）（中間発表，最終発表）
- 8) 栄養学科卒業論文発表会運営

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス
- 2) 横須賀地区栄養士連絡協議会 研修会等の運営

長瀬 香織

2 学術論文

- 1) 杉山みち子, 小山秀夫, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 高田健人, 大原里子, 遠又靖丈, 長瀬香織, 荻部康子, 堤亮介, 松山紗奈江, 藤川亜沙美. 平成 29 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)『認知症対応型共同生活介護における栄養管理のあり方に関する調査研究事業』報告書. 一般社団法人日本健康・栄養システム学会.2018.3

4 学会等での活動

- 1) 高田健人, 松山紗奈江, 藤川亜沙美, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 長瀬香織, 荻部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 杉山みち子. 特別養護老人ホームにおける常勤管理栄養士配置数と経口維持加算算定および入院の関連. 第 64 回日本栄養改善学会. (徳島) . 2017.8.
- 2) 長瀬香織, 田中和美, 磯部壮一郎, 高田健人, 杉山みち子, 中原慎二, 市川政雄. 地域在住要支援高齢者の低栄養に影響する生活・環境要因における横断研究. 第 17 回日本健康・栄養システム学会. (愛知) .2017.6
- 3) 松山紗奈江, 高田健人, 藤川亜沙美, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 長瀬香織, 荻部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 杉山みち子.介護保険施設における入所者 80 名あたり管理栄養士 2 名配置体制による栄養ケア・マネジメントの構造・プロセス・アウトカムの評価. 第 17 回日本健康・栄養システム学会. (愛知) .2017.6.

6 学内教育活動

〈学部担当科目 (必須・選択科目)〉

- 1) 藤谷朝実, 長瀬香織. 調理学実習. 2017.4～2017.7
- 2) 杉山みち子, 長瀬香織. 栄養教育論各論Ⅱ・栄養教育論実習. 2017.10～2018.1
- 3) 向井友花, 長瀬香織. 食品学実験Ⅱ. 2017.10～2018.2

〈学部担当科目 (臨地実習)〉

- 1) 外山健二, 中島啓, 五味郁子, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱの運営補助.2017.4～2018.3

〈学部担当科目 (その他)〉

- 1) 国家試験対策講義. 2017.10～2018.2 (1 回)
- 2) 栄養学科進路支援担当補佐. 2017.4～2018.3
- 3) 保健医療福祉概論の事前・事後指導.2017.6～2017.8
- 4) チューター会.2017.4～2017.5.
- 5) 入学式オリエンテーション 2017.4.
- 6) オープンキャンパスにおける学生指導補佐 2017.8.
- 7) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント課程」. 事例検討、中間・最終発表の指導補. 2017.6～2017.12

〈卒業研究等指導補佐〉

- 1) 卒業論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室（指導教員杉山みち子）4年生4名.（「介護保険施設における<低栄養><経口維持の取り組み>が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響」,「特別養護老人ホーム入所高齢者におけるミールラウンドのあり方について:「施設内看取り」との関連から」,「介護老人保健施設入所高齢者におけるミールラウンドのあり方について:「在宅復帰」との関連から」,「介護保険施設における栄養ケア・マネジメントの構造及び経過が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響」.
- 2) 修士論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室（指導教員杉山みち子）.修士課程2年1名.「介護保険施設における経口維持による看取り及び在宅復帰支援のための栄養ケア・マネジメントの評価に関する研究」.

8 社会貢献

- 1) 横須賀地区栄養士連絡協議会における活動の支援(樋口良子, 徳永美希他)
- 2) 「神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究」において、住民高齢者の栄養相談や栄養カフェによる栄養改善の取り組み.
- 3) 大和市地域在住要支援高齢者の低栄養に関連する要因の検討(長瀬香織, 田中和美, 杉山みち子, 中原慎二, 市川政雄他)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1)高田健人, 樋口良子, 飯田綾香, 長瀬香織, 徳永美希, 藤川亜沙美, 中島啓, 中村丁次との共同研究事業): 神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究（初年度 2,807 千円）※28-30 年度の3年間の継続事業.

樋口 良子

2 学術論文

- 1) 中西朋子, 吉川達哉, 樋口良子, 鈴木志保子. (2018.3) 50歳代女性における運動習慣の有無が健康・生活観に及ぼす影響. 神奈川県立保健福祉大学大学誌 15(1). 21-28

3 その他の著作

- 1) 徳永美希, 樋口良子. (2018.3) 横須賀地区嚥下調整食分類早見集 VOL.2. 全 114 頁. 横須賀地区栄養士連絡協議会事務局.

4 学会等での活動

- 1) 樋口良子, 駿藤晶子, 山本妙子. 給食経営管理論実習における非加熱真空調理の効果と適した調理条件の検討. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会. 徳島. 2017.9
- 2) 高村晴美, 柿崎祥子, 安保敏明, 中西朋子, 樋口良子, 鈴木志保子. 高齢者入院患者における再入院に関する研究. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会. 徳島. 2017.9
- 3) 中西朋子, 高村晴美, 樋口良子, 川久保清, 鈴木志保子. 幼児期の平日と休日の生活時間の検討. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会. 徳島. 2017.9
- 4) 岩谷めぐみ, 塩瀬和美, 青木智子, 宇佐美幸子, 大友清美, 徳永美希, 樋口良子. 横須賀地区栄養士連絡協議会における摂食・嚥下チームの栄養相談プログラムパッケージの作成. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会. 徳島. 2017.9
- 5) 駿藤晶子, 樋口良子, 山本妙子. 給食経営管理論実習における学生の知識・技術到達度に及ぼす要因の検討. 第 13 回給食経営管理学会. 北海道. 2017.11

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 樋口良子. 横須賀地区栄養士連絡協議会事務局長. 2017.4～2018.3
- 2) 樋口良子. 神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会横須賀三浦地区代表世話人. 2017.4～2018.3
- 3) 樋口良子. 横須賀栄養管理研究会幹事. 2017.4～2018.3

6 学内教育活動

- 1) 給食経営管理論実習及び臨地実習, 臨床栄養学実習臨地実習 I, 臨床栄養学実習 II, 応用栄養学実習. 2017.4～2018.3
- 2) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント過程. 事例検討, 中間・最終発表の指導補助及び助言. 2017.7～2017.12
- 3) 国家試験対策特別講義. 2017.12
- 4) 食育サークル・シーラボ☆の献立作成指導及び活動に関する助言. 2017.4～2018.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 入学式・卒業式実行委員会. 2017.4～2018.3

8 社会貢献

- 1) 食育サークル・シーラボ☆の献立指導者として「神奈川・食育を進める会」との共同でバランスアップメニューの季刊リーフレット作成等により,県民の食生活改善サポートを行った。2017.4～2018.3
- 2) 神奈川県健康団地未病(低栄養)対策事業「県営団地高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究において,かもめ団地対象者に栄養カフェを実施した。2017.4～2017.10
- 3) 横須賀地区栄養士連絡協議会事務局長として,各種研修会・市民公開講座等の企画運営を担当し,管理栄養士と多職種との連携推進に向け支援した。2017.4～2018.3
- 4) 神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会横須賀三浦地区代表世話人として,市民公開講座,多職種連携講座,PDNセミナー等の企画運営を行った。2017.4～2018.3
- 5) 社会福祉法人横須賀基督教社会館給食改善向上プロジェクトのSVとして給食改善計画策定に向け支援した。2017.6～2018.3
- 6) 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)第2回リーダースキルアップ研修および第7回リーダー育成研修の本学実施において運営補助を担当した。2017.9.30～10.1

9 講演, 放送

- 1) 神奈川県薬剤師会平成29年度第1回セルフメディケーション研修会講演。「まずは食事から!～自分自身を見直すことから始めてみましょう～」。2017.4.16
- 2) 平作グループホーム「平作カフェ」研修会講演。「おいしく食べて元気に過ごそう!～毎日の食事のとり方と夏バテ防止対策～」。2017.6.20
- 3) 神奈川県専門職職員研修「食生活セミナー」講師。2017.9.22、10.18
- 4) 三浦半島学童保育研修会講演。「学童期の子供の食育～子どもの心と身体を育む食～」2017.9.24
- 5) 神奈川工科大学看護学部看護学科・在宅看護活動論Ⅰの講義「在宅療養における栄養管理」。2017.10.9
- 6) 平成29年度第3回介護職のための在宅療養セミナー講演。「高齢者の栄養管理～低栄養を防ぐには～」。2017.11.22
- 7) 神奈川県保険医協会歯科特別研究会講演。「おいしく食べ続けるために～摂食嚥下の基礎知識～」。2017.12.15
- 8) 神奈川県立海洋高等学校食育研修会講演。「思春期の健康と食生活」。2017.12.25
- 9) 横須賀市子育て支援事業「子育てぷろぐらむ(栄養編)」実習・講義。2018.2.13
- 10) 就労継続支援B型事業所「はまゆう」講演会講義。「食事がもたらす体と心の健康づくり」。2018.2.16

11 学内研究助成金の受託

- 1) 樋口良子。研究助成B(奨励研究)地域における摂食嚥下調整食分類早見集の作成および使用効果に関する研究。314千円。2018
- 2) 樋口良子,徳永美希。栄養学科研究費。横須賀・三浦地区における摂食・嚥下支援に関する研究。300千円。2018

山本 妙子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Nobuko Murayama, Hitomi Ishida, Taeko Yamamoto, Sayaka Hazano, Akemi Nakanishi, Yumi Arai, Miho Nozue, Yukiko Yoshioka, Saori Saito and Aya Abe. (2017). Household income is associated with food and nutrient intake in Japanese schoolchildren, especially on days without school lunch. Public Health Nutrition. 20(16), 2946–2958.
- 2) 新井祐未, 石田裕美, 中西明美, 野末みほ, 阿部彩, 山本妙子, 村山伸子. 世帯収入別の児童の栄養素等摂取量に対する学校給食の寄与. (2017). 日本栄養・食糧学会誌, 70(4), 139-146.

4 学会等での活動

- 1) 樋口良子, 駿藤晶子, 山本妙子. 給食経営管理論実習における非加熱真空調理の効果と適した調理条件の検討. 第 64 回日本栄養改善学会 (2017.9)
- 2) 小島唯, 村山伸子, 石田裕美, 山本妙子, 碓野佐也香. 小学生における菓子・嗜好飲料由来のエネルギー摂取量区分による栄養素等摂取量の比較. 第 64 回日本栄養改善学会 (2017.9)
- 3) 塩原由香, 村山伸子, 山本妙子, 石田裕美, 中西明美, 碓野佐也香, 高松優香, 齋藤沙織, 吉岡有紀子. 小学校 5 年生の家庭での食事における料理の種類とその組み合わせ. 第 64 回日本栄養改善学会 (2017.9)
- 4) 中西明美, 石田裕美, 新井祐美, 碓野佐也香, 齋藤沙織, 吉岡有紀子, 野末みほ, 山本妙子, 阿部彩, 村山伸子. 収入別の児童の栄養素等摂取量に対する学校給食の寄与. 第 13 回日本給食経営管理学会 (2017.11)
- 5) 駿藤晶子, 樋口良子, 山本妙子. 給食経営管理論実習における学生の知識・技術到達度に及ぼす要因の検討. 第 13 回日本給食経営管理学会 (2017.11)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 山本妙子. 日本栄養改善学会, 評議員, 2017.4.～2018.3.
- 2) 山本妙子. 日本給食経営管理学会, 評議員, 2017.4.～2018.3.
- 3) 山本妙子. 横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会, 部会員. 横須賀市民の健康増進に寄与する計画の進行管理を務めた. 2017.4.～2018.3.
- 4) 山本妙子. (公社) 神奈川県栄養士会, 常任理事. 教育研究栄養士事業部会, 幹事. 神奈川県栄養士会員の資質向上に寄与すべく努めた. 2017.4.～2018.3.
- 5) 山本妙子. 川崎市学校給食会, 顧問, 学校給食が児童生徒にとって有益であるために、物資並びに経費が適正に運用されるよう検討した. 2017.4.～2018.3.
- 6) 山本妙子. 神奈川県児童福祉協議会栄養士会, 外部顧問. 児童養護施設の管理栄養士・栄養士の資質向上のために、研修会並びに関東ブロック児童養護施設職員研修会における発表を支援した. 2017.4.～2018.3.

6 学内教育活動

- 1) 山本妙子. 給食経営管理論臨地実習Ⅰ, 同Ⅱ, 学校栄養教諭論, 食教育実践論, 教職実践演習(栄養教諭)、栄養教育実習, 保健医療福祉論Ⅰ(栄養担当回), 栄養学(看護学科・担当回), 卒業研究. 2017.4.～2018.3.
- 2) 山本妙子. 大学院研究科 栄養実践活動概論, 栄養ケア・マネジメント特論, 栄養ケア・マネジメント特論演習. 2017.4.～2018.3.
- 3) 山本妙子. 実践教育センターにおける「子どもの食育支援研修」を企画運営, 講師を務め, 食育支援実践者のスキルアップを支援した. 2017.4.～2018.3.
- 4) 山本妙子. 学生団体シーラボ☆の顧問として本学並びに学外における学生の食育活動を支援した. 2017.4.～2018.3.
- 5) 山本妙子. 学生団体「食堂改革プロジェクト・リコリア」の顧問として学生の食育活動と共に食堂利用活性化を支援した. 2017.4.～2018.3.
- 6) 山本妙子. 栄養学科 15 期生の副担任を務めた. 2017.7.～2018.3.

7 学内各種委員会活動

- 1) 山本妙子. 人権倫理委員会 委員, 2017.4.～2018.3.
- 2) 山本妙子. 地域貢献研究センター運営委員会 委員, 2017.4.～2018.3.
- 3) 山本妙子. 学内 FD 研修会において、本学における地域貢献の事例として「大学生が地域で学び地域で輝く活動を目指して～食育サークル・シーラボ☆の挑戦～」の報告. 2018.3.22

8 社会貢献

- 1) 山本妙子. 食育サークル・シーラボ☆の顧問として、「かながわ・食育をすすめる会」との協働でバランスアップメニューの季刊リーフレットを作成. 神奈川県下大手スーパー等 209 店舗で無料配布し県民の食生活改善をサポートした. 学生食堂並びに横須賀市役所食堂にシーラボ☆メニューを提供し、また(株)富士シティオ、ユーコープ神奈川、京急ストア、さいか屋横須賀店等との協働による弁当・惣菜の開発を行い、県民の健康的な食事提供を支援した. 2017.4.～2018.3.
- 2) 山本妙子. 高大連携事業の一環として、神奈川県立瀬谷西高校において高校生を対象に「『食』を通じて“生きる力”を磨こう！」の講義. 2017.5.30
- 3) 山本妙子. 神奈川食育フェスティバルにおいて、栄養教諭課程の学生とともに「野菜つりゲーム」を通じて、主に子どもと保護者を対象に、野菜とその食べ方への興味関心を高める活動をした. 2017.7.27
- 4) 山本妙子. オープンキャンパスにおいて栄養学科の実習施設(給食経営管理論実習室)と授業の実際を紹介し、中・高校生とその保護者等の進路選考を支援した. 2017.8.5

9 講演, 放送

- 1) 山本妙子. 神奈川県行政栄養士研修会において、県内多職域の栄養士・管理栄養士を対象に「世帯の経済状態と子ども並びに保護者の食生活との関連」の講演. 2017.7.13

- 2) 山本妙子. 横須賀市教育委員会 栄養教諭・学校栄養職員研修会において、栄養教諭・学校栄養職員・指導主事を対象に「世帯の経済状態と子ども並びに保護者の食生活との関連」の講演. 2017.12.1
- 3) 山本妙子. NPO 法人食生態学実践フォーラム・「3・1・2 弁当箱法」専門家研修において、管理栄養士・栄養士を対象に、ぴったりサイズの弁当箱に料理を詰め、食べる経験とともに学習支援プログラムの作成を行う演習を支援. 2017.12.9
- 4) 山本妙子. 第 13 回横須賀栄養管理研究会講演会において、横須賀地区の医療・福祉・教育等に関わる専門職を対象に「世帯の経済状態と子ども並びに保護者の食生活との関連」の講演. 2017.12.14
- 5) 山本妙子. 東京都福祉保健局・平成 29 年度東京都栄養担当者会議において、都内行政栄養士を対象に「大学生が地域で学び地域で輝く活動を目指して～食育サークル・シーラボ☆の挑戦～」の講演. 2017.12.26
- 6) 山本妙子. 藤沢市平成 29 年度食育担当者研修会において、給食施設に従事する施設管理者・管理栄養士・栄養士・調理師・教員・幼児教育施設食育推進者を対象に「世帯の経済状態と子ども並びに保護者の食生活との関連」の講演. 2018.1.30
- 7) 山本妙子. 横須賀市歯科医師会・平成 29 年度第 2 回学校歯科医研修会において、横須賀市歯科医師会会員・医療機関従業員を対象に「子どもたちの未来につながる食習慣・生活習慣について」の講演. 2018.3.1

12 受賞

- 1) 厚生労働大臣表彰. 栄養士養成功労者. 2017.8.7